

各保護者様

尼崎市立上坂部小学校

校長 加藤 英仁

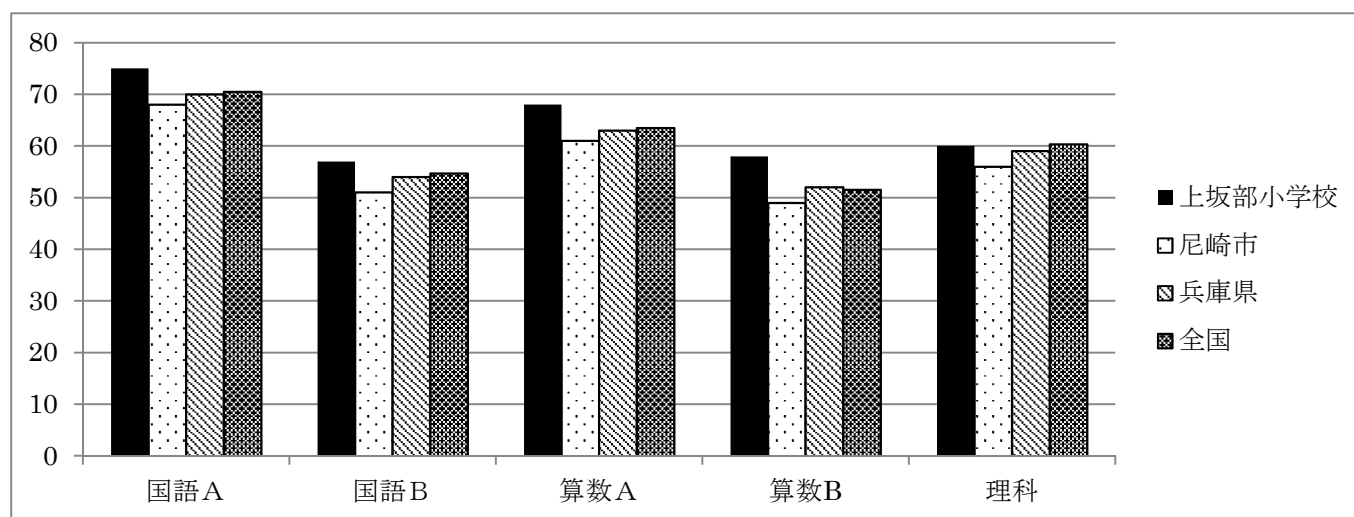
## 学力調査の結果について

立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の学校教育の推進にご理解とご尽力賜り、厚くお礼申し上げます

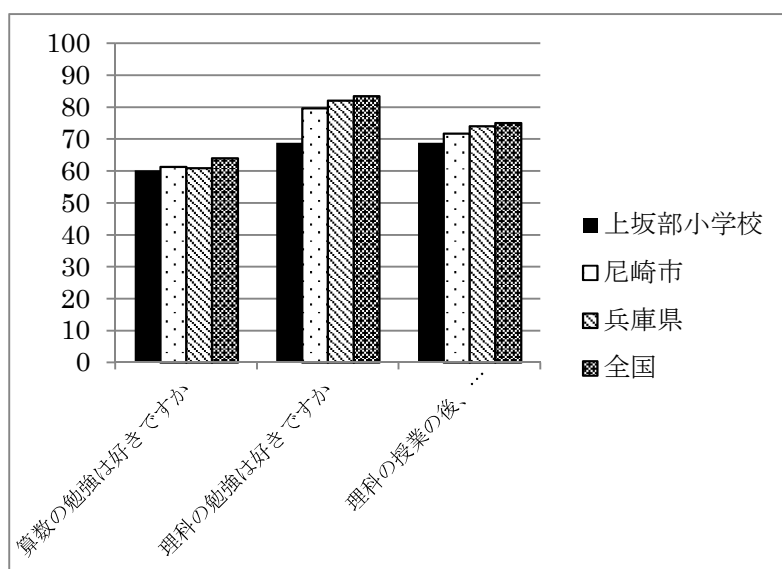
6 年生の全国学力・学習状況調査の結果について、お知らせします。

学力について (Aは知識 Bは活用を表しています。)



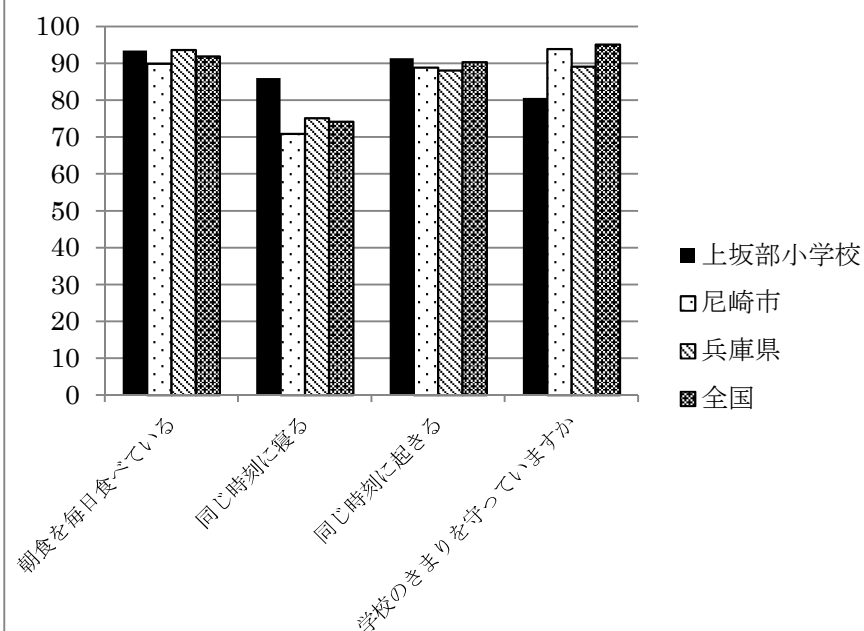
学力調査の結果、数字で見ただけでわかるように、本校の児童の平均正答率は、国語、算数において全国平均より上回る結果になったといえます。国語Aは全国に比べて、4.5 ポイント、国語Bにおいて、2.3 ポイント上回っています。算数Aは、4.5 ポイント全国を上回り、算数Bにおいては、6.5 ポイント上回る結果となりました。理科においては、全国平均より 0.3 ポイント下回っています。国語 B の正答率が低くなっている設問を見ると、話す・聞く、書く事項で、話し手の意図を捉えて聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる力がやや低いと考えられます。算数 B においては、情報とグラフを関連付け、変化に着目して解釈し記述する設問の解答率がやや低いですが、それ以外は全国を上回る正答率といえます。理科においては、主として「知識」に関する問題の正答率が全国平均に比べて低く、特に自然事象についての知識が定着していないことが見られました。

学習意欲・関心 (当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせた値)



学習が好きかどうかについて全国に比べて算数については 3.8 ポイント低い結果です。理科については 14.7 ポイントも下回っています。理科の授業の後、もっと知りたいことが出てきたかについては、6.3 ポイント低い結果となり、理科への興味関心が低い傾向が見られます。意欲は全体的に低いことから学習意欲を高めていく工夫が必要であるといえます。

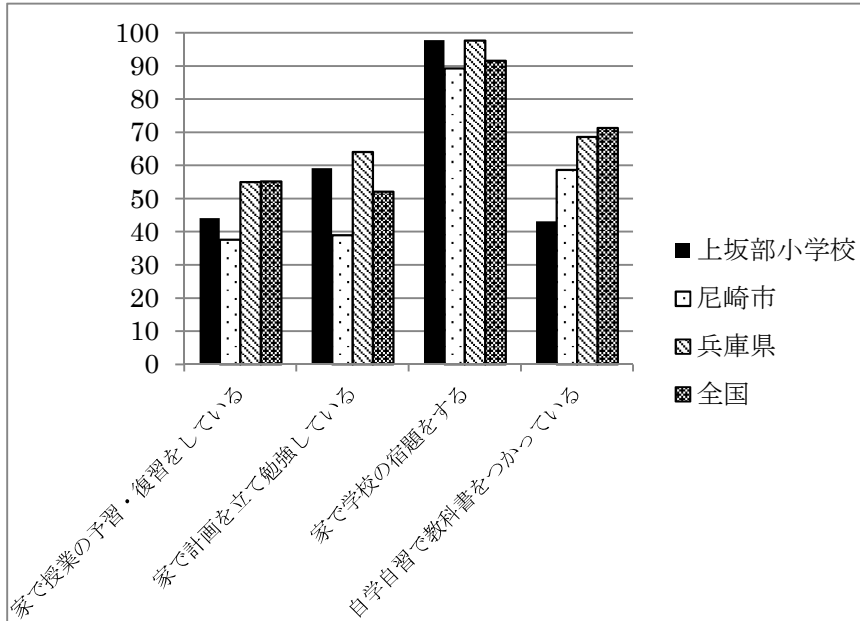
## 生活実態調査について



生活習慣・きまりについて「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の割合を表したものです。

生活実態調査について見ていくと、朝食は毎日食べている、同じ時刻に起きたり、寝たりする時間が一定であることが全国平均かそれ以上であることから、生活習慣が概ね良いことがわかります。しかし、学校でのきまりを守ることに対してはかなり低いといえます。地域や家庭、学校でも、きまりを守る必要性を訴え、全体で取り組んでいかなければいけないと思います。

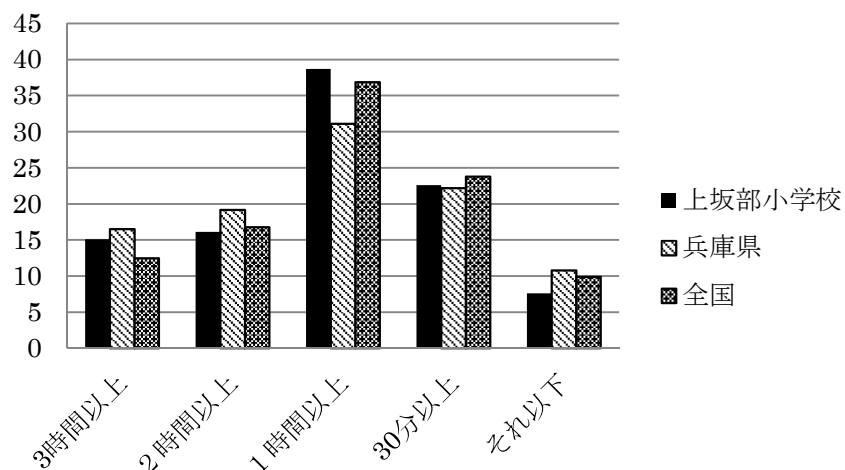
## 家庭学習について



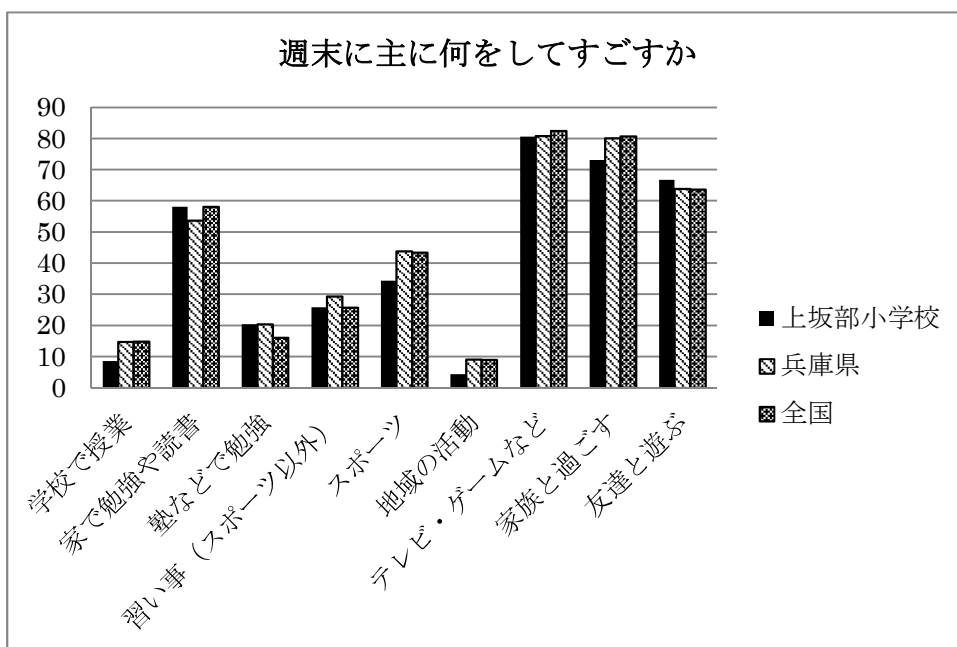
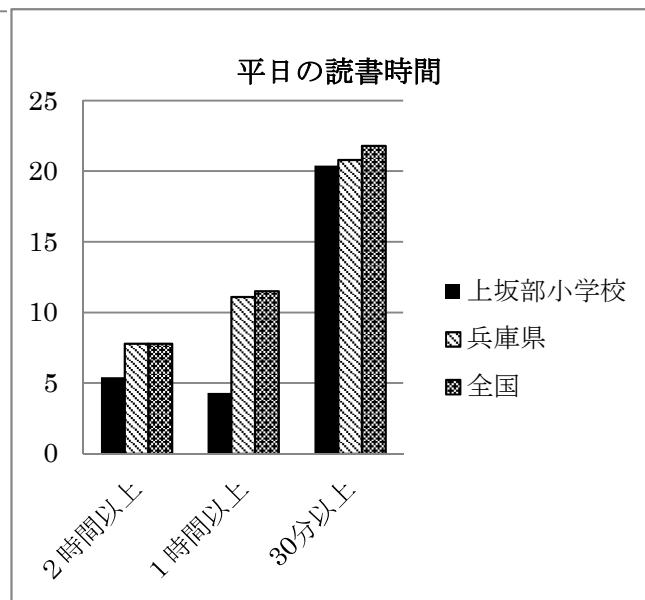
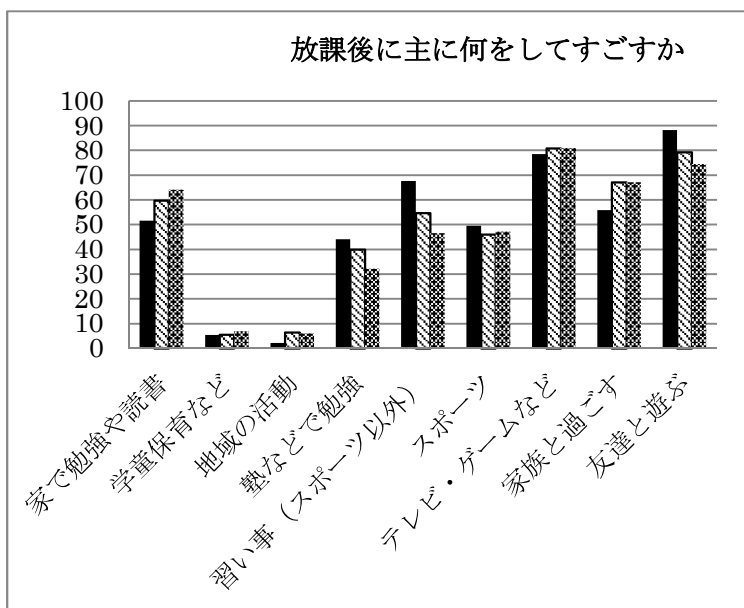
家庭での学習については、学校から出された宿題はする児童の割合は高いですが、予習や復習する割合が低く、また、教科書を使って自主学習を行うことが少ないことがわかります。

また、一日の勉強時間においては、3時間以上学習する児童の割合は全国よりも多く、1時間以上学習する児童の割合が一番高いことがわかります。平均より家庭学習が多いことがわかります。

## 平日の1日の勉強時間



## 平日、週末の過ごし方



平日の放課後の時間の使い方について、塾やスポーツ以外の習い事や友だちと遊ぶことに時間を使っている割合が全国より多いことが分かります。読書については、どの項目においても全国を下回り、読書をする習慣が少ないかと考えられます。また、放課後や週末に家族と過ごす割合がどちらも全国平均よりも下回っており、家族と過ごすことより友達と過ごす時間を多くとっている傾向にあることが見られます。

## 全体を通して

全体から言えることは、学力において全国平均を上回る結果であることは、落ち着いた環境で学習に取り組めていること、ご家庭の協力によるものであると思います。しかしながら課題もあります。学習意欲を高めていくためには、主体的な学び・協働的な学びを取り入れた授業の改善により、内発的な動機付けを高められるような授業作りをしていかなければなりません。さらに生活習慣や時間の使い方などについては、規則正しい生活を習慣化し、約束を守ったり、時間を決めたりすることが大切ではないかと思います。学校においてもさらに自主学習の計画を立てて、自ら進んで学習できるような環境を作り、習慣化できるように取り組まなければいけないと考えます。